

保育で使われる漢字の収集と分析（Ⅲ）

織 田 芳 人

Accumulation and Analysis of Chinese Characters Used in Early Child Care and Education (Ⅲ)

Michito ODA

長崎女子短期大学紀要 第48号 令和4年度 別刷

Reprinted form

Nagasaki Women's Junior College Annual Report of Studies, 48 : 47 - 54

2023

保育で使われる漢字の収集と分析 (Ⅲ)

織 田 芳 人

Accumulation and Analysis of Chinese Characters Used in Early Child Care and Education (Ⅲ)

Michito ODA

キーワード：保育、保育学生、漢字力、実習日誌

1. はじめに

保育学生における基礎学力としての漢字力を向上させる方策を検討するため、『幼稚園教育要領』、及び、教育実習（幼稚園）で学生が記述した実習日誌に出現する漢字を中心として、その分析を試みてきた¹⁾²⁾。本稿では、『保育所保育指針』を取り上げて、その中に出現する漢字を分析する。

幼稚園教育は「学校教育法に規定する目的及び目標を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする」³⁾。一方、保育所は「児童福祉法に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とする児童福祉施設であり…」、「…子どもの状況や発達過程を踏まえ、保育所における環境を通して、養護及び教育を一体的に行うことを特性としている」⁴⁾。

つまり『保育所保育指針』（以下『保育指針』と略記）には「教育」だけでなく「養護」という

観点が加わっているため、当然、使用される漢字群にも『幼稚園教育要領』（以下『教育要領』と略記）とは大きな違いが現れてくると推測される。

2. 研究方法

『保育指針』に記述されている文章を Excel データとして計量テキスト分析ソフト KH Coder⁵⁾によって分析する。これまでと同様、名詞、及び、言い切りの形が「だ」で終わる形容動詞を分析対象として、頻出150語の抽出、抽出語の共起ネットワークの描画等の分析を行う。分析対象とする品詞リストを表1に示す。

たとえば「保育者」という語は「保育」と「者」の2語に分けて抽出されてしまうが、「保育者」という1つの語として抽出されることが本研究の趣旨に適っている。そこで、初めに、複数の語を

表1 分析対象の品詞リスト

KHCoder 内の品詞名		抽出例
名詞（漢字2文字以上を含む一般名詞）		幼児、地域、等
サ変名詞（サ変「する」に接続する名詞）		教育、生活、等
名詞C（漢字1文字のみの名詞）		心、人、力、等
形容動詞（言い切りの形が「だ」で終わる）		必要、自然、等

表3 強制的に無視する語

無視する語			
1 事項	4 取扱	い	7 次
2 ねらい	5 上記		
3 内容	6 留意		

表2 強制抽出する複合語

強制抽出する複合語			
1 保育士	15 嘱託医	29 児童福祉施設	
2 保育所	16 施設長	30 創造性	
3 保護者	17 生活習慣	31 探究心	
4 専門性	18 人間関係	32 自立心	
5 保育実践	19 充実感	33 食物アレルギー	
6 発達過程	20 自己評価	34 思考力	
7 信頼関係	21 好奇心	35 人間性	
8 乳児保育	22 信頼感	36 表現力	
9 地域社会	23 安定感	37 達成感	
10 指導計画	24 食育	38 食習慣	
11 子育て支援	25 児童福祉法	39 避難訓練	
12 保育環境	26 児童相談所	40 ごっこ遊び	
13 発達状態	27 健康状態		
14 日常生活	28 事故防止		

つなげた「複合語」として抽出したほうがよいかも
 もしれない組み合わせを検出する。結果として、
 表2に示す複合語40個を強制抽出した。

一方、分析対象とするファイルの総文字数が少

ない場合、幼児教育・保育に直接関係のない文字
 も検出されて、分析結果に現れてしまうことも考
 えられる。そのため抽出されないように無視する
 語群も設けた。表3に示す。

表4 『保育指針』全文における頻出150語

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
子ども	219	意欲	19	機能	10
保育	121	協力	19	形	10
生活	109	行動	19	考え	10
保育所	94	他	19	市町村	10
自分	72	自然	18	周囲	10
保育士	67	理解	18	重要	10
言葉	66	機関	17	体制	10
環境	58	応答	16	把握	10
表現	56	喜び	16	文字	10
必要	55	支援	16	課題	9
活動	51	状態	16	活用	9
適切	51	心身	16	基盤	9
様々	48	安定	15	資質	9
保護者	45	考慮	15	自己評価	9
気持ち	42	相手	15	習慣	9
豊か	42	リズム	14	嘱託医	9
身近	40	感性	14	信頼関係	9
健康	39	作成	14	内外	9
関わり	38	状況	14	配置	9
職員	38	親しみ	14	発生	9
体	37	生命	14	評価	9
対応	37	発達過程	14	欲求	9
地域	35	確保	13	意識	8
配慮	35	感情	13	育ち	8
人	34	社会	13	音	8
遊び	34	養護	13	芽生え	8
安全	33	領域	13	基礎	8
発達	31	施設	12	機会	8
連携	31	実施	12	共通	8
力	29	主体	12	教育	8
関心	28	情緒	12	姿	8
興味	27	積極	12	事象	8
計画	27	話	12	自己	8
向上	27	絵本	11	疾病	8
関係	26	関連	11	実態	8
大切	26	具体	11	情報	8
心	25	形成	11	色	8
専門性	25	子育て支援	11	成長	8
援助	23	指導計画	11	多様	8
感覚	23	質	11	態度	8
十分	23	受容	11	知識	8
家庭	22	章	11	当該	8
経験	22	食事	11	特徴	8
研修	22	身	11	日常	8
友達	22	身の回り	11	日常生活	8
下	21	相互	11	入所	8
工夫	21	尊重	11	能力	8
体験	21	動き	11	雰囲気	8
基本	20	保持	11	目標	8
展開	20	愛情	10	役割	8

表5 『保育指針』第1章における頻出150語

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
子ども	83	実態	6	基準	3
保育	60	社会	6	休息	3
保育所	44	職員	6	共通	3
生活	32	身近	6	教育	3
環境	22	人	6	興味	3
内容	21	生命	6	経験	3
活動	20	発達	6	見通し	3
適切	19	目標	6	個人	3
保育士	17	芽生え	5	思考力	3
計画	16	改善	5	支援	3
配慮	12	関係	5	施設	3
発達過程	12	関心	5	自発	3
様々	12	基礎	5	重要	3
指導計画	11	自然	5	障害	3
自分	11	情緒	5	状態	3
家庭	10	情報	5	成長	3
事項	10	心身	5	積極	3
豊か	10	専門性	5	尊重	3
援助	9	相互	5	態度	3
関わり	9	入所	5	地域社会	3
言葉	9	把握	5	当該	3
作成	9	役割	5	特性	3
十分	9	理解	5	標識	3
心	9	力	5	文字	3
表現	9	運営	4	保育実践	3
安全	8	過程	4	保健	3
気持ち	8	関連	4	目的	3
向上	8	基本	4	遊び	3
主体	8	規定	4	幼児	3
状況	8	協力	4	愛情	2
大切	8	考慮	4	意向	2
評価	8	行動	4	意識	2
保護者	8	姿	4	維持	2
友達	8	資質	4	育ち	2
養護	8	事象	4	園	2
留意	8	質	4	応答	2
健康	7	場	4	絵本	2
工夫	7	条	4	確保	2
構成	7	設備	4	活用	2
自己評価	7	相手	4	感覚	2
体験	7	達成	4	観点	2
地域	7	能力	4	機能	2
展開	7	判断	4	記録	2
必要	7	変化	4	共感	2
連携	7	欲求	4	共有	2
リズム	6	安心	3	協同	2
安定	6	一体	3	原則	2
意欲	6	下	3	個別	2
具体	6	感性	3	互い	2
考え	6	喜び	3	思い	2

3. 分析結果

『保育指針』は「第1章 総則」「第2章 保育の内容」「第3章 健康及び安全」「第4章 子育て支援」「第5章 職員の資質向上」から構成

されている。『教育要領』における「第1章 総則」「第2章 ねらい及び内容」「第3章 教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動などの留意事項」という構成とはかなり異なる。

表6 『保育指針』第2章における頻出150語

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
保育	294	安定	21	質	11
子ども	219	下	21	受容	11
生活	121	工夫	21	充実	11
内容	77	施設	21	章	11
自分	72	体験	21	食事	11
言葉	66	過程	20	身	11
環境	60	基本	20	身の回り	11
表現	59	社会	20	相互	11
必要	55	展開	20	尊重	11
活動	51	意欲	19	動き	11
適切	51	協力	19	保持	11
発達	51	行動	19	愛情	10
保護	49	他	19	機能	10
様々	48	自然	18	形	10
健康	44	評価	18	考え	10
事項	43	理解	18	市町村	10
気持ち	42	機関	17	周囲	10
地域	42	子育て	17	重要	10
豊か	42	指導	17	体制	10
身近	40	自己	17	把握	10
関係	39	応答	16	文字	10
関わり	38	喜び	16	課題	9
計画	38	習慣	16	活用	9
職員	38	食	16	基盤	9
留意	38	心身	16	資質	9
体	37	日常	16	実践	9
対応	37	考慮	15	囑託	9
遊び	37	相手	15	内外	9
配慮	35	リズム	14	配置	9
人	34	感性	14	発生	9
安全	33	作成	14	欲求	9
心	31	状況	14	意識	8
連携	31	信頼	14	育ち	8
力	29	親しみ	14	音	8
関心	28	生命	14	芽生え	8
興味	27	確保	13	基礎	8
向上	27	感情	13	機会	8
支援	27	上記	13	共通	8
状態	27	養護	13	教育	8
取扱い	26	領域	13	姿	8
専門	26	実施	12	事象	8
大切	26	主体	12	疾病	8
援助	23	情緒	12	実態	8
感覚	23	積極	12	小学校	8
十分	23	話	12	情報	8
家庭	22	絵本	11	色	8
経験	22	関連	11	人間	8
研修	22	具体	11	成長	8
次	22	形成	11	多様	8
友達	22	児童	11	態度	8

表7 『保育指針』第3章における頻出150語

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
子ども	29	対策	3	家庭	1
対応	19	調理	3	火災	1
安全	13	点検	3	箇所	1
適切	11	把握	3	改善	1
環境	10	避難訓練	3	外部	1
保護者	10	引渡し	2	確認	1
関係	9	活動	2	感覚	1
健康	9	活用	2	感謝	1
状態	9	感染	2	換気	1
保育	9	観察	2	関わり	1
連携	9	基本	2	関心	1
機関	8	訓練	2	関連	1
発生	8	工夫	2	危険	1
下	7	指導	2	基礎	1
施設	7	事故	2	期待	1
職員	7	事態	2	機能	1
配置	7	実施	2	気持ち	1
必要	7	取組	2	記録	1
協力	6	傷害	2	疑い	1
心身	6	章	2	虐待	1
専門性	6	食物アレルギー	2	救急	1
地域	6	診断	2	共通	1
保育所	6	相談	2	緊急	1
連絡	6	体験	2	具体	1
確保	5	体調	2	恵み	1
管理	5	大切	2	経路	1
計画	5	日常	2	継続	1
市町村	5	配慮	2	健やか	1
疾病	5	発育	2	健康	1
囑託医	5	発達状態	2	向上	1
食	5	避難	2	構築	1
食育	5	備え	2	採光	1
内外	5	不良	2	材料	1
衛生	4	保健	2	児童相談所	1
看護	4	方法	2	児童福祉法	1
災害	4	予防	2	自然	1
体制	4	理解	2	湿度	1
定期	4	アレルギー	1	疾患	1
保持	4	プール	1	主体	1
栄養士	3	マニュアル	1	手順	1
健康状態	3	意識	1	重大	1
作成	3	意欲	1	重要	1
指示	3	維持	1	循環	1
支援	3	医師	1	処置	1
事故防止	3	医務	1	障害	1
食事	3	育成	1	場面	1
整備	3	円滑	1	常備	1
生活	3	援助	1	情報	1
設備	3	温度	1	食材	1
増進	3	音	1	食生活	1

「第3章 健康及び安全」及び「第4章 子育て支援」は、乳児から対象としている『保育指針』の大きな特徴である。「第5章 職員の資質向上」

は、保育士養成課程で生じている全国的レベルの課題を反映していると考えられる。

『保育指針』全文における頻出150語を表4に示す。同様に、第1章・第2章・第3章における

表8 『保育指針』第4章における頻出100語及び第5章における頻出50語

第4章		第5章	
抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
保護者	23	環境	1
地域	15	喜び	1
子ども	13	寄与	1
子育て支援	11	希望	1
保育所	10	機会	1
保育	9	気持ち	1
支援	8	規定	1
連携	8	技術	1
関係	6	虐待	1
機関	6	決定	1
家庭	5	健やか	1
子育て	5	検討	1
個別	4	構築	1
市町村	4	参加	1
積極	4	支障	1
配慮	4	事柄	1
保護	4	児童相談所	1
活動	3	児童福祉法	1
関連	3	自己	1
事業	3	実現	1
児童	3	実施	1
状況	3	実情	1
相互	3	実態	1
対応	3	需要	1
育ち	2	収集	1
課題	2	就労	1
基本	2	柔軟	1
協議	2	障害	1
協力	2	条	1
向上	2	状態	1
考慮	2	信頼関係	1
実践	2	心身	1
章	2	人材	1
専門性	2	成長	1
尊重	2	生活	1
多様	2	籍	1
体制	2	説明	1
対策	2	速やか	1
適切	2	存在	1
特性	2	対	1
日常	2	知識	1
不適切	2	通告	1
養育	2	展開	1
理解	2	伝達	1
力	2	当該	1
プライバシー	1	特別	1
意図	1	発達	1
育児	1	秘密	1
外国	1	必要	1
活用	1	病	1
		研修	22
		職員	22
		向上	16
		保育所	16
		保育	12
		専門性	11
		質	7
		必要	7
		課題	6
		施設長	6
		計画	5
		職務	5
		確保	4
		知識	4
		外部	3
		活用	3
		機会	3
		参加	3
		職場	3
		組織	3
		体系	3
		当該	3
		保育士	3
		保育実践	3
		理解	3
		維持	2
		環境	2
		技術	2
		技能	2
		作成	2
		資質	2
		自己評価	2
		実施	2
		社会	2
		修得	2
		重要	2
		職位	2
		身	2
		成果	2
		責任	2
		責務	2
		体制	2
		対応	2
		配慮	2
		役割	2
		キャリア	1
		パス	1
		栄養士	1
		解決	1
		改善	1

表9 『教育要領』における頻出150語

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
幼児	151	安全	11	見通し	6
教育	91	基本	11	支援	6
生活	91	作成	11	事象	6
幼稚園	67	態度	11	信頼	6
活動	51	関係	10	数量	6
自分	42	経験	10	先生	6
指導	38	考え	10	相互	6
表現	36	資質	10	体制	6
言葉	32	充実	10	評価	6
必要	31	文字	10	話	6
課程	30	意欲	9	イメージ	5
様々	30	関連	9	音	5
体験	27	基礎	9	芽生え	5
環境	26	小学校	9	絵本	5
計画	25	情報	9	共有	5
地域	25	相手	9	公共	5
発達	25	多様	9	行事	5
豊か	22	編成	9	思考	5
工夫	21	保護者	9	生命	5
身近	21	目的	9	存在	5
配慮	21	理解	9	伝統	5
教師	20	意識	8	動き	5
行動	20	過程	8	動植物	5
関心	19	活用	8	入園	5
関わり	18	協力	8	発揮	5
自然	18	形成	8	物語	5
大切	18	姿	8	要領	5
興味	17	自己	8	安定	4
社会	17	実施	8	援助	4
心	17	実態	8	下	4
適切	17	重要	8	我が国	4
友達	17	心身	8	学習	4
気持ち	16	親しみ	8	感情	4
考慮	16	身	8	感動	4
人	16	人々	8	基盤	4
展開	16	日常	8	共感	4
遊び	16	役割	8	緊密	4
家庭	15	領域	8	形	4
他	15	いろいろ	7	交流	4
連携	15	感覚	7	好奇	4
体	14	機会	7	構成	4
具体	13	実現	7	施設	4
達成	13	習慣	7	周囲	4
力	13	組織	7	終了	4
学校	12	尊重	7	集団	4
喜び	12	変化	7	出来事	4
健康	12	目標	7	障害	4
主体	12	リズム	6	性質	4
十分	12	改善	6	積極	4
能力	12	感性	6	創造	4

頻出150語を表5・表6・表7に示す。第4章における頻出100語及び第5章における頻出50語を

まとめて表8に示す。

表10 対象年齢別の保育の「ねらい及び内容」における頻出50語

乳児保育		1歳以上3歳未満児の保育		3歳以上児の保育	
抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
身近	12	言葉	24	子ども	41
体	11	生活	24	自分	33
保育士	10	子ども	23	生活	32
子ども	9	自分	23	言葉	28
発達	9	保育士	18	表現	27
応答	8	遊び	16	活動	16
人	8	気持ち	15	関心	16
生活	8	表現	15	必要	16
下	6	様々	15	行動	15
感覚	6	関わり	13	興味	14
気持ち	6	経験	12	身近	14
対応	6	必要	11	保育士	14
適切	6	豊か	11	様々	14
様々	6	体	10	他	13
意欲	5	感覚	9	体	13
環境	5	環境	9	豊か	13
関わり	5	健康	8	人	12
言葉	5	身近	8	大切	12
必要	5	適切	8	気持ち	10
表現	5	人	7	健康	10
豊か	5	保育	7	自然	10
遊び	5	感情	6	体験	10
基盤	4	興味	6	友達	10
興味	4	発達	6	力	10
健康	4	領域	6	関わり	9
視点	4	力	6	喜び	9
自分	4	やり取り	5	遊び	9
受容	4	援助	5	環境	8
十分	4	応答	5	工夫	8
身の回り	4	活動	5	心	8
動き	4	身の回り	5	保育	8
乳児保育	4	排泄	5	いろいろ	7
発声	4	保育所	5	親しみ	7
表情	4	話	5	日常生活	7
保育	4	安定	4	配慮	7
リズム	3	下	4	発達	7
愛情	3	感性	4	文字	7
安全	3	関心	4	領域	7
感情	3	基本	4	安全	6
玩具	3	形成	4	基本	6
形	3	受容	4	経験	6
信頼関係	3	習慣	4	十分	6
心	3	十分	4	身	6
身体	3	食事	4	相手	6
特徴	3	心	4	イメージ	5
乳児	3	相手	4	意欲	5
発育	3	尊重	4	音	5
保護者	3	他	4	感覚	5
欲求	3	対応	4	自己	5
力	3	仲立ち	4	集団	5

4. 考 察

4-1. 『保育指針』と『教育要領』の比較

『保育指針』と『教育要領』を比較するため、『教育要領』全文における頻出150語を求めた。表9に示す。なお『教育要領』の分析においても、抽出されないように無視する語群(表3)を参照している。

『保育指針』における「子ども」(表4の1位)は、『教育要領』においては「幼児」(表9の1位)に対応している。同様に、『保育指針』における「保育」は『教育要領』における「教育」に、『保育指針』における「保育所」は『教育要領』における「幼稚園」に、それぞれ対応していることがわかる。

一方、「保護者」は、『保育指針』で14位であるが、『教育要領』では69位であり、「保護者」が「保育」に大きく関わることを示されている。「遊び」も、『保育指針』で26位であるが、『教育要領』では37位であって、重点がより「保育」に置かれていることがわかる。

4-2. 対象年齢別の保育の「ねらい及び内容」

『保育指針』における保育の「ねらい及び内容」は『教育要領』とは大きく異なり、「乳児保育」「1歳以上3歳未満児の保育」「3歳以上児の保育」に大別される。各保育の「ねらい及び内容」における頻出50語を表10にまとめて示す。

「子ども」の出現が「乳児保育」から「1歳以上3歳未満児の保育」「3歳以上児の保育」へと対象年齢が上がるほど多くなっており、「子ども」の位置付けがしだいに保育の中心に移っていることを示している。「子ども」とは逆に、「保育士」の出現が減少していることから、そのことが推測される。

さらに、「発達」の出現が「乳児保育」から「1歳以上3歳未満児の保育」「3歳以上児の保育」へと対象年齢が上がるほどより顕著に減少していることも、保育が「子ども」主体へ移行していることを示唆している。

表11 対象年齢別の保育の「ねらい及び内容」における特徴語

乳児保育		1歳以上3歳未満児の保育		3歳以上児の保育	
乳児	1.000	経験	.546	いろいろ	.571
大人	.667	自分	.500	他	.556
特定	.667	適切	.462	工夫	.500
乳児保育	.667	様々	.455	遊具	.500
健やか	.500	身の回り	.444	喜び	.444
嘱託医	.500	尊重	.444	自然	.444
発育	.500	気持ち	.429	体験	.444
発達状態	.500	保育士	.429	大切	.444
応答	.429	遊び	.429	理解	.444
信頼関係	.400	表出	.429	必要	.438

対象年齢別の保育の「ねらい及び内容」において、それぞれの特徴語を10語ずつ抽出する。その結果を表11に示す。表中に示す数値はJaccard係数であり、0から1までの値をとる。どの程度「特徴的」かを示している。

表11の「乳児保育」欄には「嘱託医」という語が現れており、『教育要領』では見ることのない語である。「発育」も特有の語である。「1歳以上3歳未満児の保育」では「自分」が特徴語として抽出されており、「子ども」主体に保育の重点が

移っていることが示されている。「3歳以上児の保育」では「工夫」が抽出されており、「自主的な遊び」を反映したものと推測される。

共起ネットワークは、データの中でよくいっしょに出現する語を互いに線で結んで描いたネットワークのことである。本稿では、Jaccard係数0.4以上の語を描く、強い共起関係ほど太い線で描く、出現数の多い語ほど大きい円で描く、文字も大きく描く、等を設定して出力している。以下で示すネットワークは同様の設定で出力している。

図1は「乳児保育」における「ねらい及び内容」の共起ネットワークである。「身近」や「発達」が大きな円で描かれていて、出現数が多いことを示している。互いに共起関係が強いこともわかる。また、濃い色で示されているので、中心的な役割を果たしていることが推測される。

「身体」や「愛情」はそれほど大きな円で描かれているわけではないので、出現数が多いとはいえない。しかし、濃い色で示されているので、中心的な役割を果たしていることが推測される。「乳

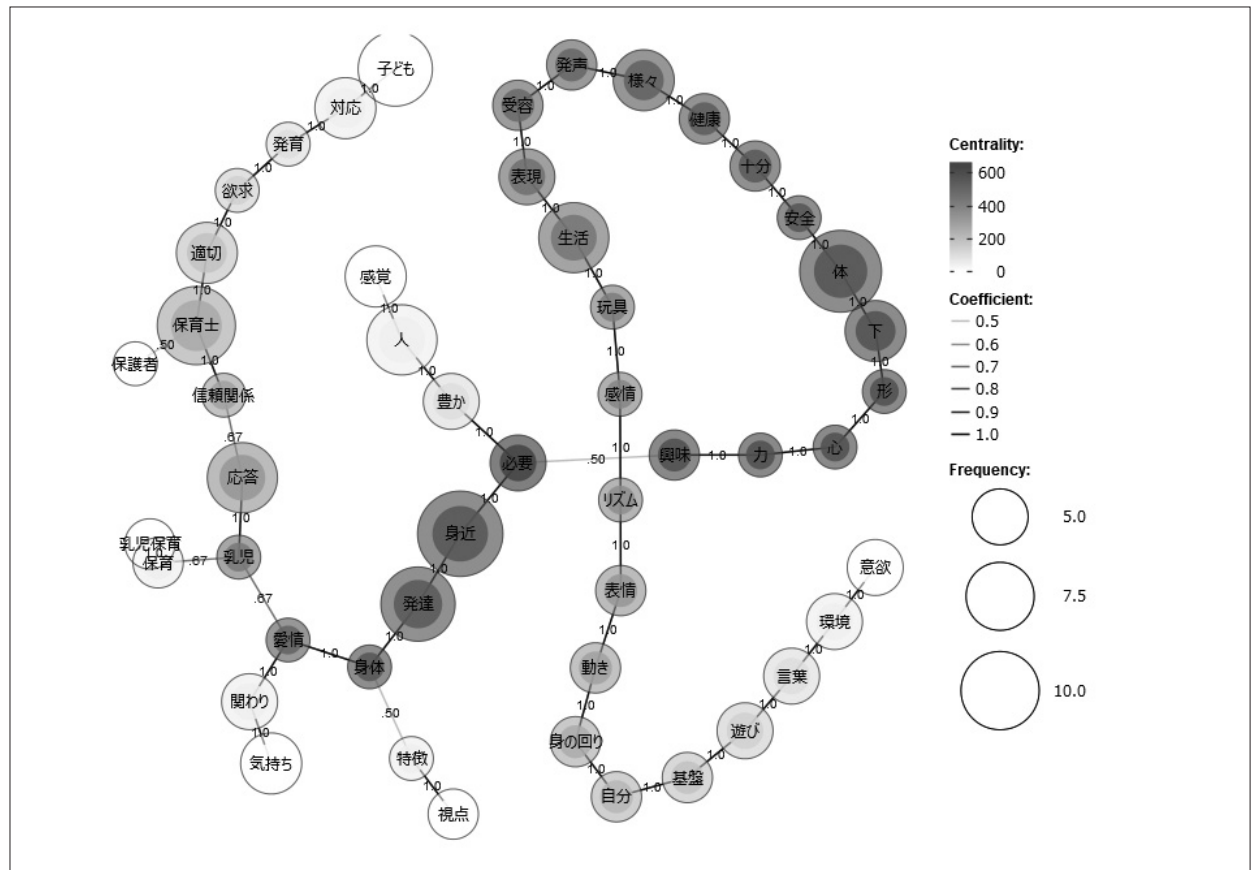


図1 「乳児保育」における「ねらい及び内容」の共起ネットワーク

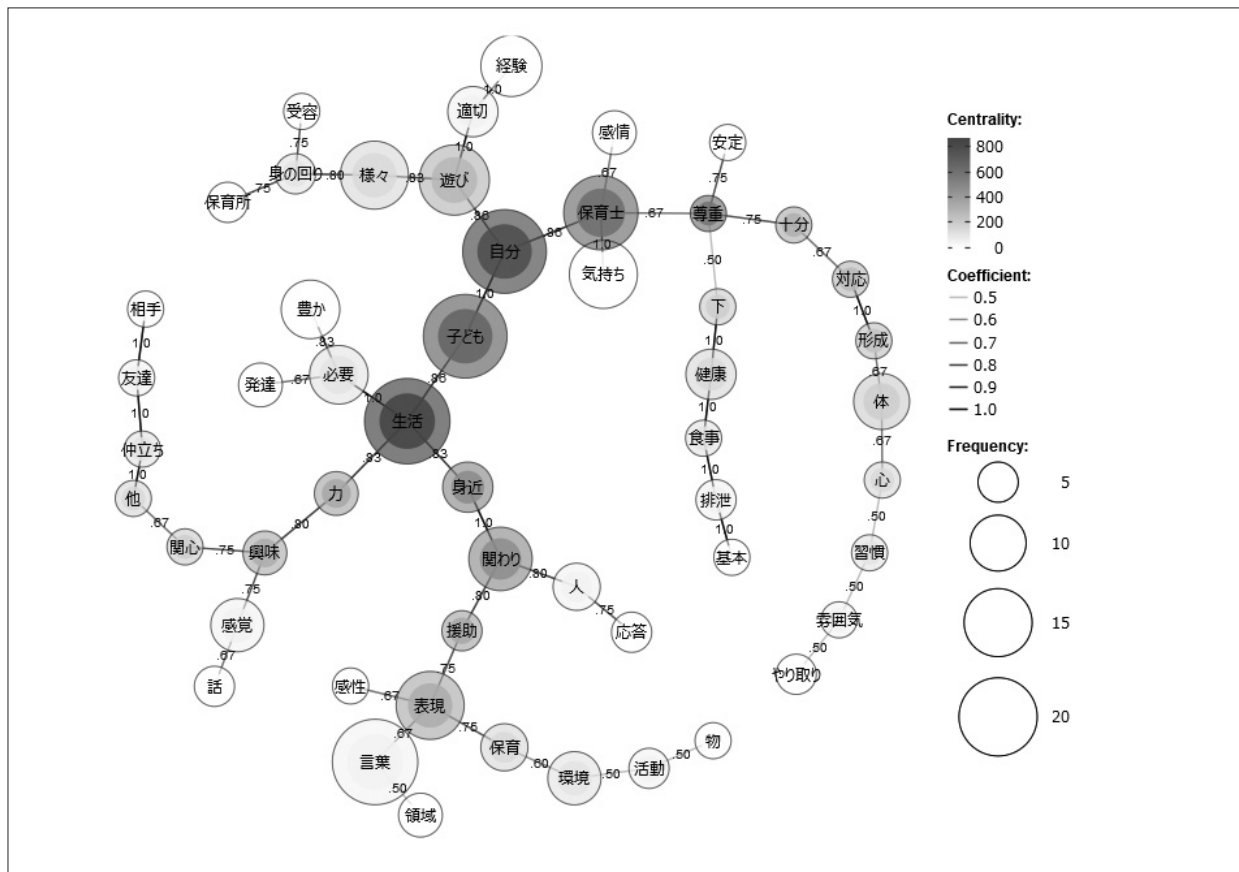


図2 「1歳以上3歳未満児の保育」における「ねらい及び内容」の共起ネットワーク

児」からの「応答」が「信頼関係」へ繋がり、「保育士」へと繋がっている。それぞれ中心的役割とはいえないが、出現数が多いことがわかる。

図2は「1歳以上3歳未満児の保育」における共起ネットワークである。「生活」「子ども」「自分」「保育士」が大きな円で描かれていて、出現数が多いことを示している。しかも互いに共起関係が強い。「保育士」以外は濃い色で示されているので、中心的な役割を果たしていることも推測される。

「乳児保育」に関する共起ネットワークと大きく異なるのが、「子ども」「自分」が中心的なことである。「遊び」や「表現」もやや大きめの円で描かれていて、「1歳以上3歳未満児の保育」における特徴といえる。「言葉」も大きめの円で描かれているが、「遊び」や「表現」と比べてかなり薄い色であるから、中心的ではない。

図3は「3歳以上児の保育」における共起ネットワークである。「子ども」と「生活」が大きな円で描かれていて、出現数が多いことは、「1歳

以上3歳未満児の保育」に関するネットワークと同じ状況であるが、それほど濃い色で描かれてはいないので、中心的とはいえない。しかも共起関係にない。

一方、「遊び」は小さめの円で描かれていて、出現数は少ない。しかし、濃い色で描かれていることから、中心的な役割を果たしていると考えられる。「表現」と「言葉」も大きめの円で描かれていて、出現数は多いほうであるが、薄い色で描かれているので、中心的ではない。「表現」と「言葉」の関係は「1歳以上3歳未満児の保育」に関するネットワークと似た状況にある。

5. まとめと課題

『教育要領』は幼児教育の観点から記述されているが、『保育指針』は「幼児教育」だけでなく「養護」という観点からも記述されている。具体的には、「第3章 健康及び安全」「第4章 子育て支援」が挙げられる。さらに、「第2章 保育の内容」においても、「乳児保育」「1歳以上3歳

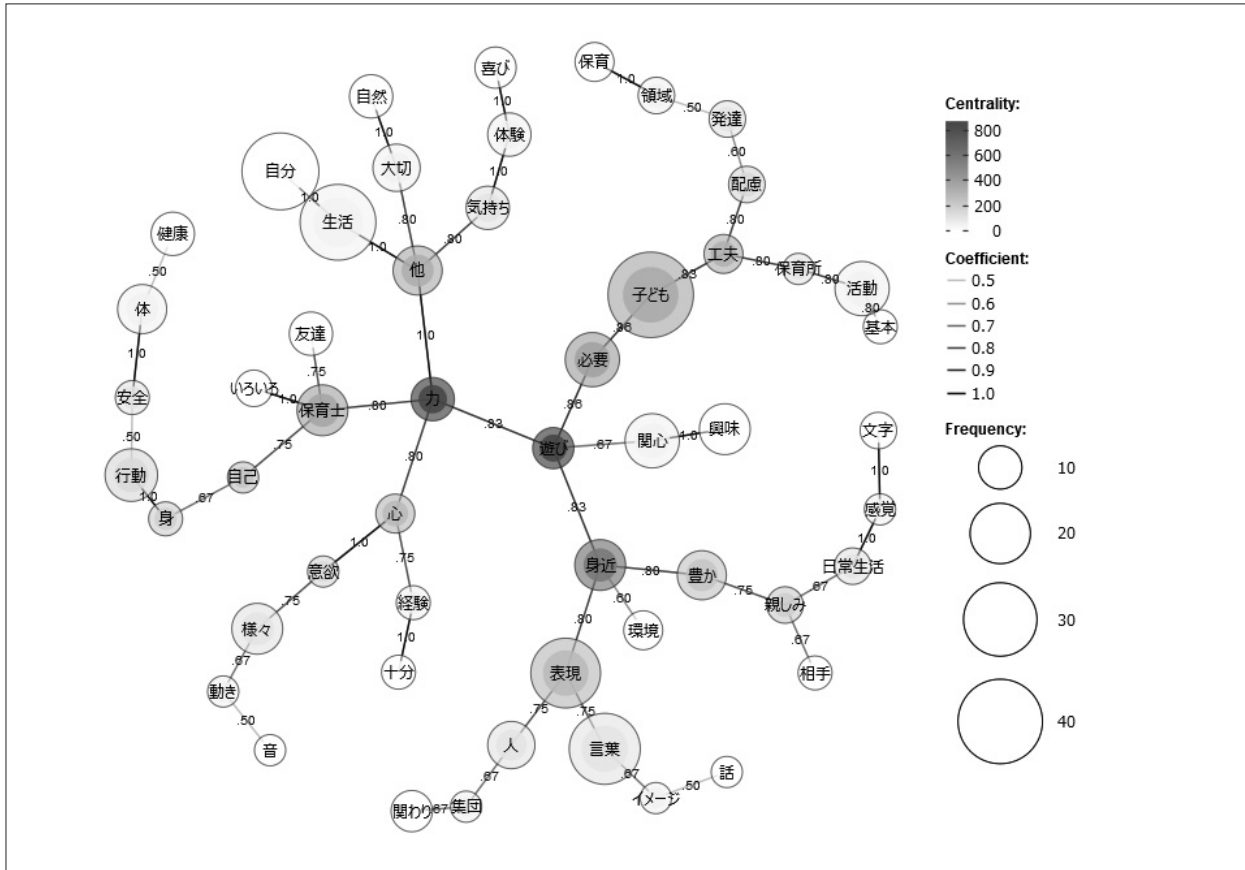


図3 「3歳以上児の保育」における「ねらい及び内容」の共起ネットワーク

未満児の保育」「3歳以上児の保育」に大別されて、各保育の「ねらい及び内容」が記述されている。

本稿では、『保育指針』に記述されている文章を計量テキスト分析ソフトによって分析して、『教育要領』と比較検討した。また、「乳児保育」「1歳以上3歳未満児の保育」「3歳以上児の保育」に大別された各保育の「ねらい及び内容」を互いに比較検討した。

結果として、保育の対象年齢が「乳児」「1歳以上3歳未満児」「3歳以上児」へと上がるに従い、「保育士」の援助を減少させ、「子ども」の主体的活動を中心に据えていく保育が求められていると推測される。このような視点が保育所実習における実習日誌に反映されているかは、実習日誌を計量テキスト分析することで確認できると考えられる。次の課題である。

計量テキスト分析ソフトの機能を十分に活用することによって、保育の様々な場面における特徴的な文章表現例を示していくことができるのではないかと考えている。そのような機能を検討する

ことも課題として残される。保育学生の漢字力向上に資する方策の検討を継続していきたい。

註

- 1) 織田芳人 (2020) 「保育で使われる漢字の収集と分析」『長崎女子短期大学紀要』第45号、pp.57-61
- 2) 織田芳人 (2021) 「保育で使われる漢字の収集と分析(Ⅱ)」『長崎女子短期大学紀要』第46号、pp.39-44
- 3) 『平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領〈原本〉』(2017) チャイルド本社、p. 7
- 4) 『平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領〈原本〉』(2017) チャイルド本社、p. 26
- 5) 樋口耕一によって開発されたフリーの計量テキスト分析ソフト (Version : 3. Beta. 02a)。KHCoderの機能等は下記書籍及びKHCoder ウェブサイトを参照した。樋口耕一 (2014) 『社会調査のための計量テキスト分析—内容分析の継承と発展を目指して』ナカニシヤ出版。